

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	学年	1 学年
学科	全学科	コース		教科書	現代の国語（東京書籍）		
副教材	現代の国語 学習課題ノート（東京書籍）						
学習目標	言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質、能力を育成することを目指す。						

	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
			知技	思判表	主体	
1 学期	4 月 視点を変える 水の東西	・ 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読む。 ・ 「鹿おどし」と「流れてやまないもの」の関係性について考え、日本人の感性の特徴を理解する。	◎		○	
	5 月 言葉へのまなざし 解釈	・ 「テキスト」という概念語について、本文の文脈の中での使われ方を理解する。 ・ 「読者の解釈」と「表現の不確実性」の関係性を読み取る。	◎		○	
	6 月	・ 「読者」とはどのような存在であるかをまとめる。		◎	○	
	7 月 本を紹介する	・ 聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解する。 ・ 本の内容や、その本を紹介する理由が的確に伝わる構成を意識し、話をする。		◎	○	
2 学期	8 月 メディアを考える 広告の形而上学	・ 「一般」「逆接」「差異」「還元」「言説」などの概念語の本文の文脈の中での使われ方を理解する。	◎		○	
	9 月	・ 資本主義社会における広告の役割と、広告の生み出す「過剰な差異」について読み取る。		◎	○	
	10 月	・ 本文の理解を踏まえて、実際の広告を見て考えたことを表現する。		◎	◎	
	11 月 共に生きる 真の自立とは	・ 「自立」と「独立」の違いを整理し、筆者の立てた定義を理解する。 ・ 「生き方」ではなく「生きることの作法」と言う表現をした筆者の意図について「作法」という言葉から考える。		◎	○	
12 月	手順を整理して正確に伝える	・ 手順書にふさわしい構成について理解する。	◎		○	
		・ 情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を考える。		◎	◎	
3 学期	1 月 科学から見た人間 生物の多様性とは何か	・ 「パラダイム」という概念語の文脈の中での使われ方を理解する。 ・ 「生命観と環境観のパラダイム・シフト」について、筆者の考えを読み取る。	◎		○	
	2 月	・ 「生物多様性」について、自分の言葉で表現する。			◎	
	3 月 メディアを適切に使い分けながら情報を収集する	・ 収集した情報を吟味する方法を理解し、使えるようにする。 ・ 各メディアの特徴と適切な活用の仕方について理解する。	◎		○	
				◎	◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・ 定期考査に加え、節間テスト、課題、ノート提出などを総合的に評価する。 ・ 平常の取組（授業態度、意欲等）についても評価する。
------	---